



天童市「ゼロカーボンシティ」宣言

～ 2050年 二酸化炭素排出実質ゼロを目指して ～

近年、地球温暖化に起因するといわれる気候変動の影響から、世界規模で深刻な気象災害が発生し、甚大な被害を与えています。日本各地においても、猛暑や豪雨等が頻発しており、今後、自然災害によるリスクが更に高まることが懸念されています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に共有されました。

2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされ、国は2020年10月に、2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを表明しました。

天童市は、豊かな環境を未来につないでいくため、市民・事業者と一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指し、積極的に取組を進めることをここに宣言します。



令和4年2月16日

天童市長 山本信浩